

【ご注文承ります】

安徽大學藏戰國竹簡(二) (附原大圖版)

安徽大學漢字發展與應用研究中心 編 黃德寬、徐在國 主編 / 中西書局 / 2022年4月 / 精装
税込 44,000 円 (481494)

『安徽大學藏戰國竹簡(二)』には、「仲尼曰」と「曹沫之陳」の二篇の文献を収録する。掲載内容は、竹簡の原寸大図版、拡大図版、釈文と注釈。また附録として、「仲尼曰」与相關文献対照、上博簡「曹沫之陳」編聯釈文、上博簡「曹沫之陳」摸本、字形表、竹簡信息表、を収める。

「安徽大學藏戰國竹簡(安大簡)」とは… 2015年に安徽大學が入手した戰國竹簡のこと。北京大學による放射性炭素年代測定(炭素14法)によれば、竹簡の年代は紀元前400年から紀元前350年までの間、戰國時代の早期から中期にかけてのものである。竹簡は全部で1,167枚あり、接合すれば1,000枚前後になるとみられる。竹簡の形は、長さ21.8～48.5センチ、幅0.4～0.8センチと様々である。竹簡には様々な書き手の文字があり、書体は典型的な楚文字の風格を呈し、筆跡は比較的是っきりしている。竹簡の内容はすべて書籍であり、詩經、孔子語録と儒家の著作、楚史、楚辭佚編および相術などを含み、經学・史学・哲学・文学・言語文字学などの異なる学問にわたる。郭店楚簡、上博楚簡、清華簡に続いて、戰國竹書文献の重要な発見といえる。



【シリーズ既刊】

安徽大學藏戰國竹簡(一) (附原大圖版)

安徽大學漢字發展與應用研究中心 編 / 中西書局 / 2019年8月 / 精装 税込 55,000 円 (451288)

ご注文・お問い合わせ